

機械工学科

Department of Mechanical Engineering

「ものづくり」の技術者を育て夢を実現します

機械工学の分野には自動車・鉄道車両・航空機・ロケットなど交通・輸送機械、家庭でなじみ深い電化製品、コンピュータなどの情報、鉄鋼・プラスチックなどの素材の分野に加えて、時計・カメラなどの精密機械や工作機械などが含まれています。すなわち、機械工学は「ものづくり」の中心的な学問分野であり、広く人間の生活に関わっています。

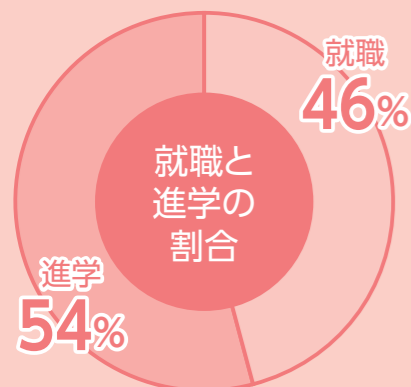
岐阜高専機械工学科は大学工学部の機械工学科と同様に機械設計と機械加工の技術者を養成する学科です。そして、ものづくりを通して学生の創造力を育てる教育を目指しています。

取得可能な資格

技術士補(技術士第一次試験)、機械設計技術者(3級)、3次元CAD利用技術者、危険物取扱者(甲種、乙種、丙種)、計算力学技術者(初級)



卒業後の進路状況 (過去5年間)



主な就職先

中部電力(株)、東邦ガス(株)、東海旅客鉄道(株)、川崎重工業(株)、三菱重工業(株)、オーヤマ(株)、DMG森精機(株)、旭化成(株)、本田技研工業(株)、(株)SUBARU、(株)小松製作所、村田機械(株)、(株)LIXIL、日本特殊陶業(株)、ナブテスコ(株)、テルモ(株)、雪印メグミルク(株)、サントリープロダクツ(株) ほか

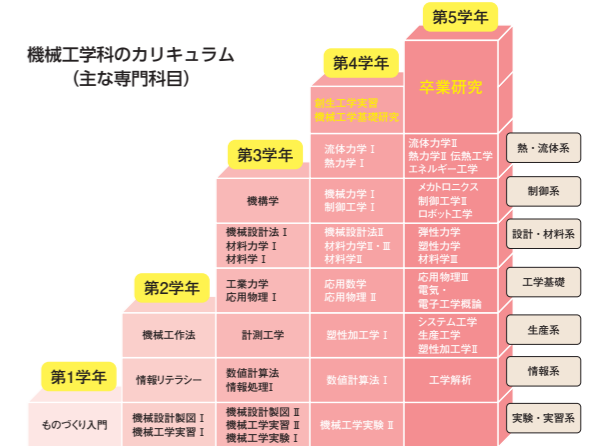
主な進学先

岐阜高専専攻科、岐阜大学、豊橋技術科学大学、長岡技術科学大学、名古屋工業大学、名古屋大学、金沢大学、三重大学、静岡大学、京都工芸繊維大学、広島大学、福井大学、電気通信大学、千葉大学、信州大学、神戸大学、岡山大学、九州大学、熊本大学 ほか

機械工学科で学ぶこと

第1学年での「ものづくり入門」では、設計図の作成、機械工作の仕方等を通じて、ものづくりの基本を学びます。その後、学年が進むにつれて、徐々に専門科目は増え、機械設計、機械製作に必要な様々な系統の知識を積み重ねながら学んでいきます。もちろんこの過程で、コンピューターやこれを利用する知識も欠かせません。

第4学年では、それまでに培った知識を使つての総まとめとして、機械製品の設計から、製作・検査(性能試験)までをチームを組んで行う「創生工学実習」、研究の基礎を学ぶ「機械工学基礎研究」を行います。特に「創生工学実習」は、創造性・チームワークを育む授業として、学外からも高い評価を受けています。そして、第5学年では高専5年間の集大成として機械工学に関わる研究を、各機械工学科教員の指導を受け、1年間かけて「卒業研究」として行います。



卒業生の声 Voice of graduates



進学先 京都大学
(現所属: 東京大学大学院准教授)
山田 崇恭
平成17年3月卒業
岐阜市立島中学校出身

Q: あなたがこの仕事を選んだ理由は?

民間企業とは異なり、研究内容の決定、研究の進め方、さらには研究予算の確保まで、すべて自分自身の裁量で決定、進めていくことができる高い自由度を持っていることです。そして、一民間企業の利益だけでなく、国家全体の産業界への貢献、将来を担う人材の育成という観点から、大変やりがいのある職業だと考えました。

Q: 未来の高専生に先輩からのアドバイスをお願いします。

高専には、5年間じっくりと勉強に集中することができる環境があったので、試験対策ではない、真の意味での学力を身につけることができたと思います。逆に、中学までは志望校に合格するという明確な目標がありましたが、高専では、受験のために学ぶわけではないので、明確な目標がありません。高専で出会う仲間と夢や目標を語り合い、その夢や目標に向かって共に学んでいけるクラスの雰囲気を作ってほしいと思います。



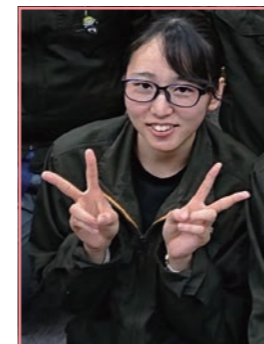
就職先
日本ガイシ株式会社
高原 拓生
昭和60年3月卒業
岐阜市立精華中学校出身

Q: あなたがこの仕事を選んだ理由は?

日本ガイシを選んだ理由は、就職を考えていた当時、仲良くさせていただいた機械工学科の庶務担当の方に日本ガイシを勧められて、なんとなく入社試験を受けて、縁あって合格、入社しました。その程度のいい加減だったのです。入社後の仕事はなかなか自分の希望通りには選べません。たまたま、上司が現場向きと判断してくださり、年齢構成から私の年代がちょうどポストも空いていたため今の職務に携わっています。

Q: 未来の高専生に先輩からのアドバイスをお願いします。

高専に入るのは手段であり目的ではないはずですが、あなたが、将来やりたい目的があって、そのために高専を選んでくれるならそれは素晴らしいことだと思います。但し、医者になるために医学部を専攻するような明確さは、高専には少しかけるように思います。高専卒業時点ではまだまだいろんな方面に進める自由度があります。



在校生の声 Voice of Current student

新卒生(令和2年度3月卒業)

南谷 沙弥 岐阜市立厚見中学校

私は中学生の時に母と一緒に国技館で見た「高専ロボコン全国大会」をきっかけに、高専へ入学することを決意しました。高専ロボコンで活躍するロボットと高専生はとても輝いて見え、私の憧れとなりました。

高専へ入学以降、ロボット研究会での活動や授業、実習を通して他にはない多くの経験をしてきました。機械工学科では実験や工場実習が何度もあり、他の学校でも珍しい実践的な実習も行うため、先生たちのサポートの下、楽しく知識や技術を身につけることができます。部活動では高専ロボコンに参加し、ロボット製作に励んでいました。チームでモノづくりはとても難しく辛いことも多くありましたが、先生やOBOGの方の支えもあり、憧れていた国技館の舞台(全国大会)に2度も立つことができました。

これら多くの失敗や成功の体験や、そこから得られるものづくりの力は、就職活動において自身のアピールになり、希望の会社から内定をいただくことができました。就職活動をする際も、先生方がエントリーシートの添削から面接練習までとても丁寧サポートして下さるため、安心して面接に挑むことができます。

このように岐阜高専機械工学科では、実践的なカリキュラムや優秀な先生方の手厚いサポートによって確かな技術力と大手企業からの内定を得ることができます。

是非、機械工学科に入学して自分の可能性を広げてみてはいかがでしょうか。